

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	23
施設名	葛飾区白鳥保育園
施設所在地	葛飾区西亀有1-18-6
法人名	葛飾区

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

植物と種

<テーマの設定理由>

3・4歳児の頃から給食に出てくる果物や野菜の種とりをしてきた。  
種の違いを観察してきたが、実際に育ててみることでより深く植物や種の成り立ちを考えていく。

## 2. 活動スケジュール

令和7年5月 テーマを決定  
5月 土づくり(下準備)  
6月 種を集める(下準備)  
7月 必要物品発注

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・調理室のお手伝い(野菜の種とり、皮むき)を通して野菜の成り立ちを知る。
- ・自分たちで食べた果物の種を集めることを通して種の色や形の違いに気づく。
- ・プランター
- ・土

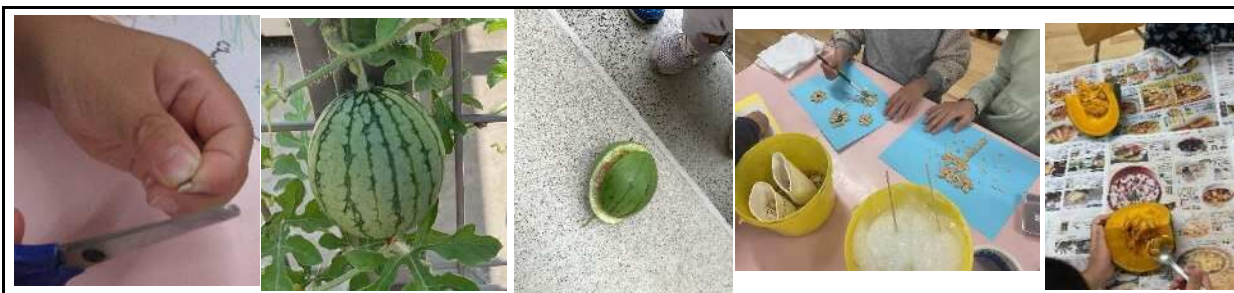
#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・ 5月～6月：昨年植えていたチューリップの球根を抜いたり、根っこをかじってしまう虫や  
いらぬ根っこなどのゴミを取り除く。
- ・ 6月（～12月 野菜一年を通じて種に関心を寄せていく）：昨年とっておいたスイカの種を並べたり、  
給食の手伝いをしながらどんなものに種があるのか種集めをする。
- ・ 7月：種を半分にしたり中身を調べて観察→種を植えていく。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

昨年はうまく実らなかったスイカを今年度も育ててみたいと声があがる。  
種を植える、育てるために必要な物はなにか？を考える中で、土が大切という。  
そもそも種と苗の育ちは違うのか？種から実っていくがもし種が半分だったらどうなる？  
種って中身は何が入っているのだろう？と疑問が出てきたためそれぞれの育ちについて  
調べていく。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

育つためには土や水が必要と思っていた子どもたちだったが、暑さや水やりのタイミング  
が大きく関係していることに気づく。大きくなる前に自然に実が下に落ちてしまう。  
保育士は実らなかったことを残念に思ったが、子どもたちの視点・つぶやきは違った。  
落ちた実を見て「アリさんのおやつになったね」といい、よく見ると小さいアリが  
集まっていた。実りはよくなかったが、黒くない種をとり観察。その後も給食などで  
種に出会うと取っておき保存し、集めた種で種アートやマンカラ遊びを楽しむことが  
できた。